

神奈川県議会議員 土井りゅうすけ (川崎市多摩区選出)

- ・神奈川県議会議員(4期)
- ・議会運営委員会委員
- ・総務政策常任委員会委員
- ・震災対策調査特別委員会委員
- ・予算委員会委員
- ・決算特別委員会委員

http://www.kinet.or.jp
E-mail rdoi@kinet.or.jp



〒214-0014

川崎市多摩区登戸2663東洋ビル7F
TEL(044)911-5200・FAX(044)911-0330

【事務所】



かながわ自民党

県議団NEWS



神奈川県議会

発行所

自由民主党神奈川県議会議員団
神奈川県横浜市中区日本大通1
(神奈川県庁新庁舎内)

電話：045-210-7600

http://www.kanagawajimin.jp/



和歌山県防災対策センター

高知県庁にて地震防災条例や津波対策の取り組みについて調査。

国が示した津波高想定によると、高知市の約6割が浸水するという結果に。

早急な津波対策が必要であり、避難ビルの指定や、避難場所の指定、県民への周知を進めています。

和歌山県庁では地震防災条例の取り組みや、庁舎の免震機能などを調査。

私の高校の同級生中村裕一和歌山県議には大変お世話になりました。

海南市では二階俊博代議士のお世話で、国が進めている可動式防潮堤について国土交通省からレクチャーを受けました。

また、神奈川県地震災害対策推進条例に盛り込まれている、防災教育について調査するため、広川町の稲村の火の館（津波防



南紀白浜空港で、防災へり「きしゅう」

災教育センター）を見学。

ここは、安政の大地震の時、浜口梧陵という人が、稲束に火を放ち、この火を目印に村人を誘導し、安全な場所に避難させたという実話を題材にしています。

この浜口梧陵という人は現在のヤマサ醤油の当主で、私財を投じて、広川町に堤防を築き後に、初代和歌山県議会議長を勤めた方です。

また、稲村の火の館の入口にある碑を見てびっくりしました。そこには、小泉純一郎書と書いている見覚えのある字が。



小泉純一郎書

震災対策調査特別委員会県外調査

平成二十四年十二月十四日(水)～十六日(金)
高知県、和歌山県

神奈川県地震災害 対策推進条例が制定されました。

東日本大震災後に議論を続け、条例を制定しました。

この条例は、地震災害から県民の生命、身体及び財産を守るために必要な地震災害対策について、県、県民及び事業者の責務を明らかにし、県、県民及び事業者が実施する地震災害対策の基本となる事項を定め、地震災害対策の総合的な推進を図り、県民が安全で安心して暮らすことが出来る社会の実現を目的としています。

また、基本理念では県民及び事業者が自らの安全を自ら守る自助、県民、事業者等が連携し、協力して助け合う共助並びに県、市町村、国等が行う公助を基本として取り組む事を決めました。

特徴としては、災害ボランティアの重要性や津波対策、帰宅困難者対策や防災教育を盛り込んでいます。

さらに地震災害対策の着実な推進を図るため、進行管理や財源措置も盛り込みました。

見直し条項についても県の条例は通常施行後五年を経過するごとに、見直しをする事になっていますが、この条例に限っては、県内外において大規模な地震災害が発生した場合には、その地震災害から得られた知見等を踏まえ、必要な見直しが行われる事を明記しました。

この条例は本年四月一日に施行されます。詳細については県のホームページでご覧下さい。

県立高校 空調設備整備

松沢前知事時代に全県立高校に空調設備を二年間かけて整備する計画でしたが、東日本大震災の影響で節電しなければならなくなり、計画が遅れていました。昨年第二回定例会で取り上げ、県当局と協議し、出せる予算の範囲内で、今年の夏までに整備するとの回答を受け、昨年の九月補正予算で決定しました。今年整備される高校は四十五校。

うち多摩区では、多摩高校、生田高校、百合ヶ丘高校が整備されます。

いずれもガス式空調で十三年間のリース契約です。

神奈川県緊急財政 対策について

県の試算で義務的経費等の増加により平成二十五年度～二十六年年度の二年間で約千六百億円程度の財源不足が予測されることから知事が危機感を持ち、始まった緊急財政対策ですが、有識者による会議で得た方策は、補助金や県有施設の存廃をゼロベースで見直すというものでした。

何れの見直しについても市町村や団体、利用者等、当事者との話し合いが必要であり、時間のかかる対策であります。

当面は当事者としていねいに話し合い、理解を得る必要があり、新年度予算に反映できるものは限られてきます。

議会としても、市町村や団体、施設利用者等との調整状況の報告を随時求め、県民目線で議論してまいります。

神奈川県が多摩区関連事業について

平成24年度～25年度にかけて県立多摩高校・向の岡工業高校の建て替えや多摩警察署の耐震化工事を初め、以下の工事や計画が進行中です。

南生田1丁目急傾斜地崩壊対策工事



昨年度に引き続き、工事に取りかかっており、今年度中に終了します。

三沢川第2期親水整備事業



新三沢橋～南武線間で親水整備工事が始まり今年度中に完成予定です。

三沢川管城下人道橋階段差解消消工事



人道橋のバリアフリー化の工事に着手しています。今年度中に完成予定です。

杵形6丁目(天神社斜面)急傾斜地崩壊対策事業



測量が終了し、設計に入っています。平成25年の秋祭り終了後に工事に着手予定です。

東生田3丁目(おし沼自治会館裏)急傾斜地崩壊対策事業



急傾斜地指定、工事着手に向け、地権者並びに関係住民との説明会が始まります。

予算委員会

自民党県議団は、10月9日の総括質疑において、「9月補正予算案と県の財政状況」「緊急財政対策に係る県有施設及び補助金の見直し」などについて、10月10日の一般質疑においては、「バリアフリーによる障害者の自立支援」「ひとり親などへの支援」などについて、質疑を行いました。

団体ヒアリング

7月10日(火)～7月17日(火)にかけて、神奈川県庁舎内で各種団体に対して予算要望ヒアリングを行いました。今年は全68団体から、4日間かけてじっくりと要望を受け止め、有意義な意見交換を行うことができました。

各団体からの要望を可能な限り来年度の予算に反映させるよう、努力してまいります。(一部8月7日に開催)



予算委員会の様子

市町村ヒアリング

7月20日(金)～7月31日(火)にかけて、神奈川県内各市町村に対し予算要望ヒアリングを行いました。また同時に各地域を視察し、実績をしっかりと確認して参りました。

各市町村の抱える課題の改善や、計画の実施などを実現させるべく、可能な限り予算に反映させるよう努力してまいります。



団体からの要望を聴く議員



市町村からの要望を聴く議員

平成25年第1回定例会

本会議	2月13日(水)	2月18日(月)	知事提案説明
	2月15日(金)	2月18日(月)	代表質問
	2月19日(火)		
	2月21日(木)	2月22日(金)	一般質問
	2月25日(月)		
	3月21日(木)		議案の採決(現年度分)
	3月25日(月)		議案の採決(新年度分)

傍聴のご案内

◆本会議
受付時間：開会時間の30分前より
受付場所：県庁新庁舎8階受付
定員：傍聴席210席、車椅子用スペース3席
※手話通訳は10日前までに申込み。団体での傍聴希望の場合は予め連絡してください。

◆常任委員会・特別委員会
受付時間：当日午前10時迄(通常10時30分開会)
受付場所：県庁新庁舎5階 議政局議事課
定員：各委員会16人(定員を超える場合は抽選)
※空席がある場合は午前10時20分まで受付。
午後からの傍聴は定員に達していない場合のみ。

問い合わせ

＜本会議＞
政務調査課調査情報グループ
TEL 045-210-7564

＜常任委員会・特別委員会＞
議事課委員会グループ
TEL 045-210-7546

渡辺紀之議員が入団

伊勢原市県議補選で当選

高山松太郎前県議の辞職に伴い伊勢原市で行われた県議補選選挙(9月23日執行)で当選した、渡辺紀之議員が9月25日に自民党県議団に入団しました。



改めて、自民党県議団は42名がひとつとなり、県政の更なる発展を目指し取り組みで参ります。

ペーパーレス化に向け始動

所属議員全員にiPad

自民党県議団は第3回上期定例会から、タブレット型コンピューター・iPadを導入しました。紙を極力使わず、資料はデータ化してiPadで閲覧する事を目指します。また、膨大な資料をiPad一台に集約し持ち運べるため、議員の活動も一層の効率化が期待されます。

